

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

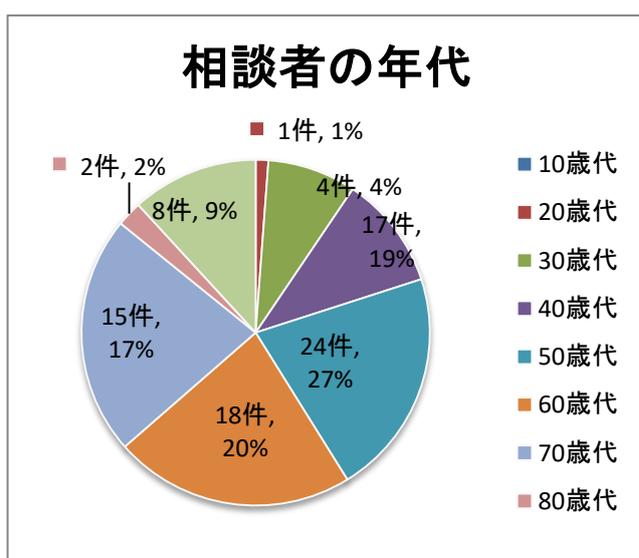
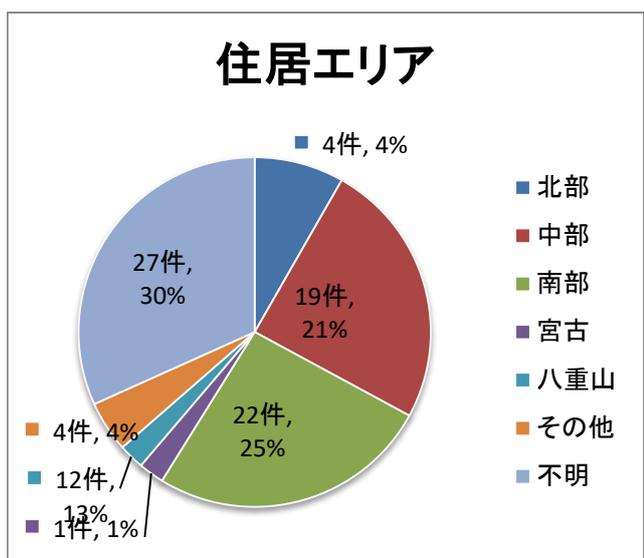
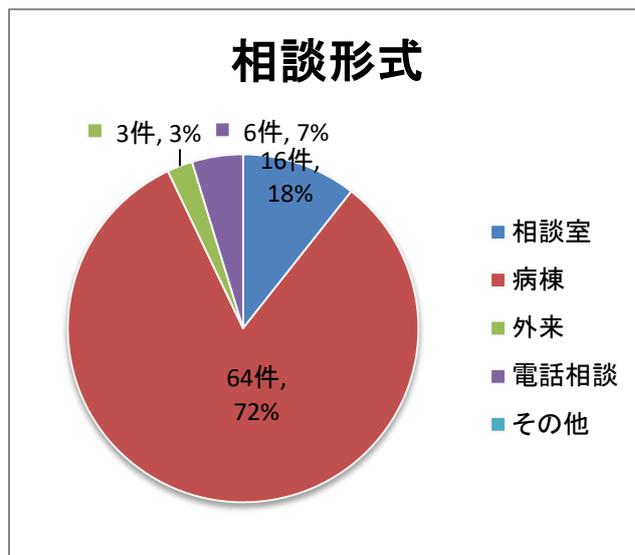
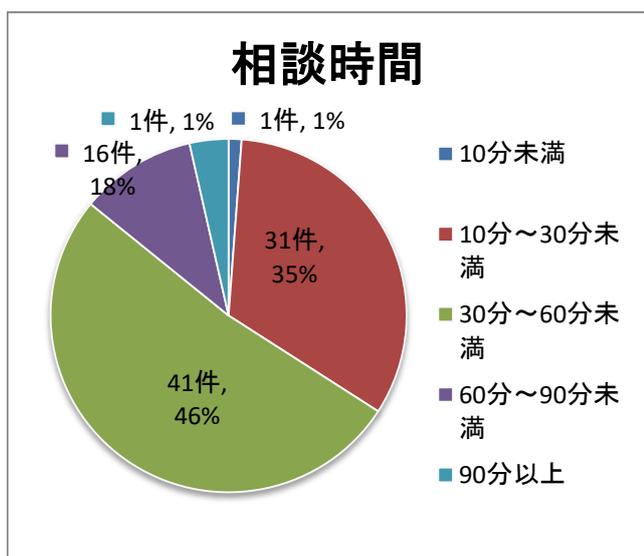
実施期間：平成31年1月1日～平成31年3月31日

がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

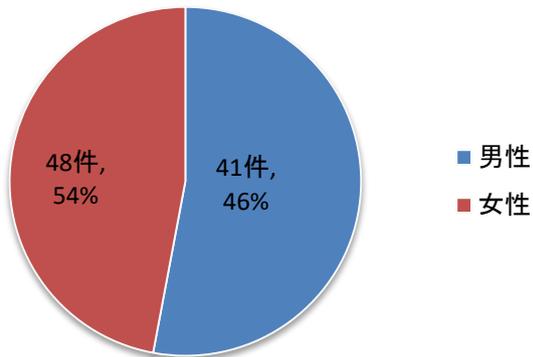
■ 調査対象期間 平成31年1月1日～平成31年3月31日

■ 調査件数 85 件

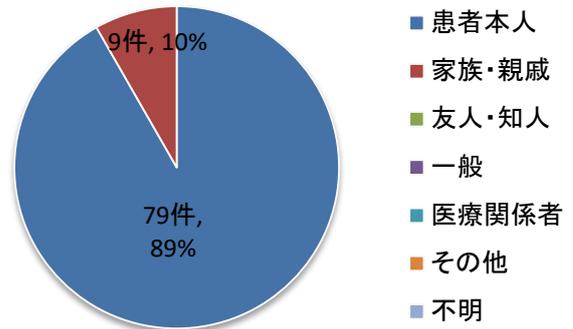
相談月	件数
1月	29
2月	27
3月	29
合計	85



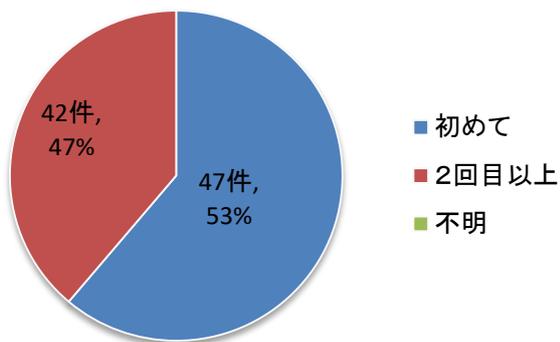
相談者の性別



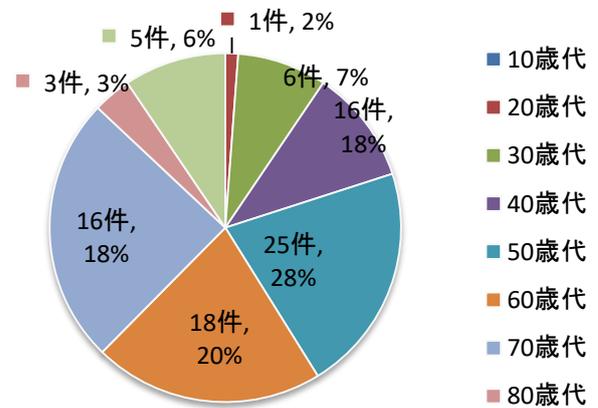
相談者のカテゴリー



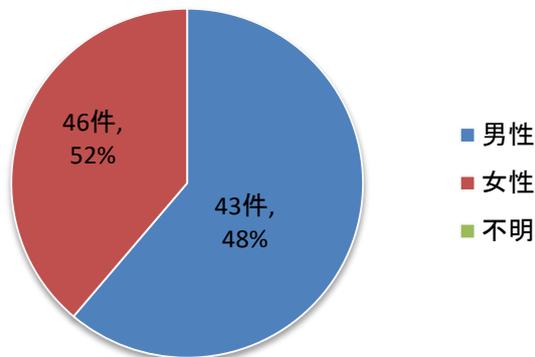
相談者の利用回数



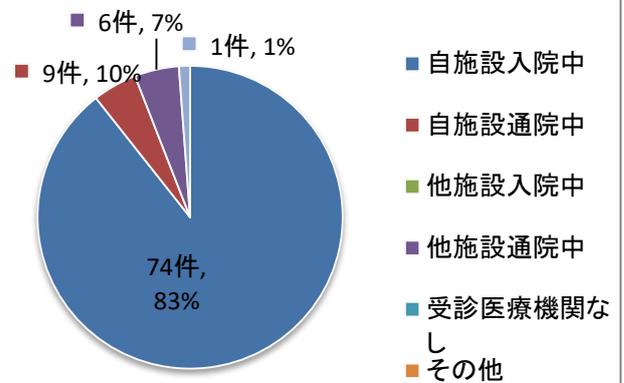
患者本人の年代



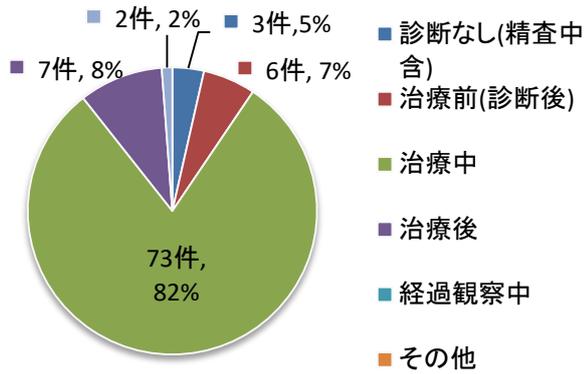
患者本人の性別



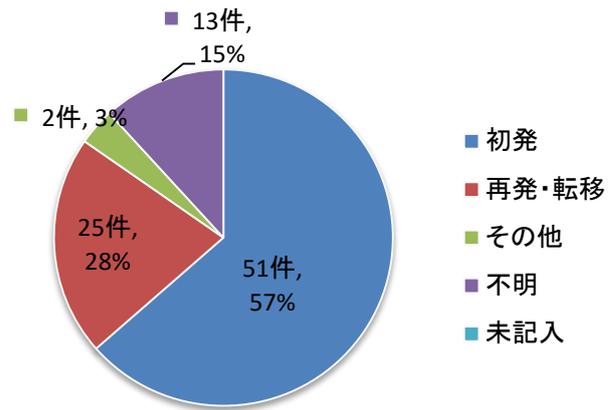
受診状況



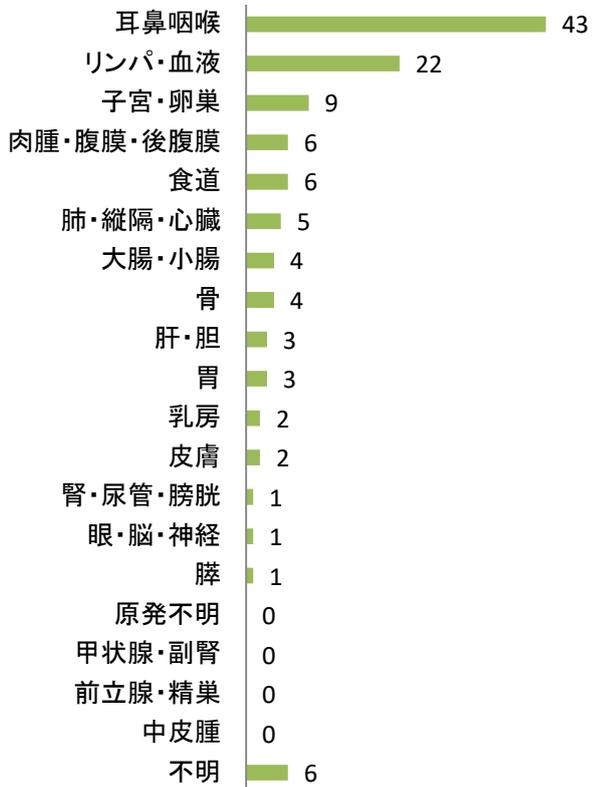
現在の治療状況



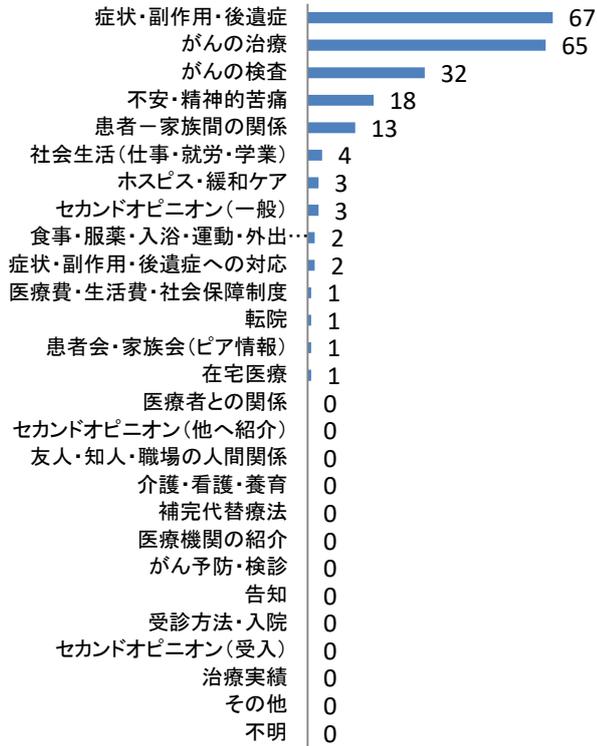
がんの状況



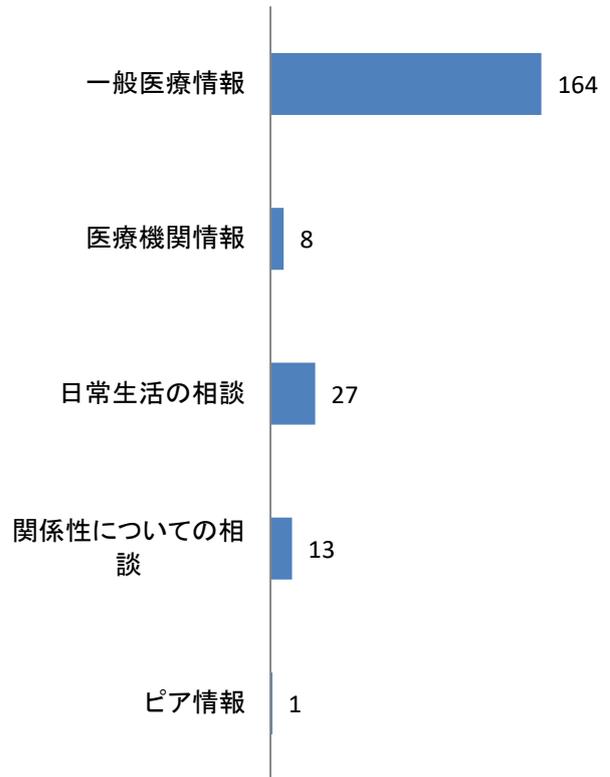
がんの部位



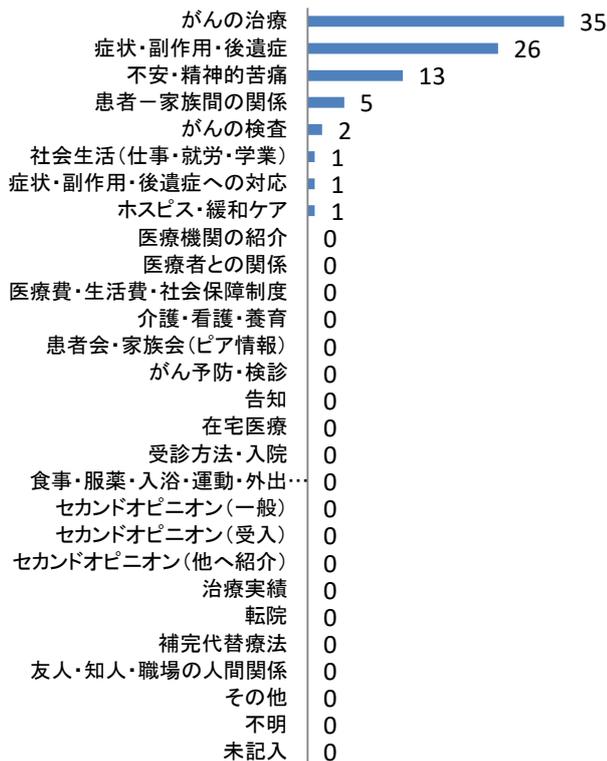
相談内容 (実施したものすべて)



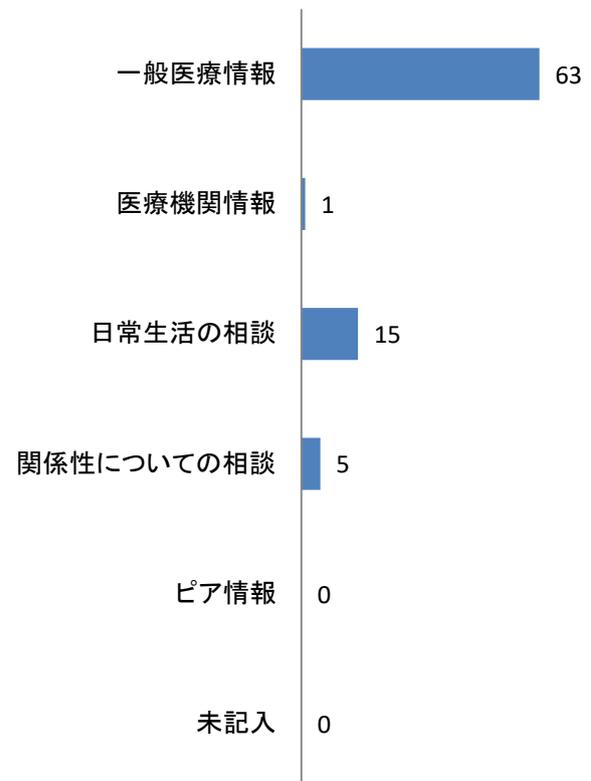
相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



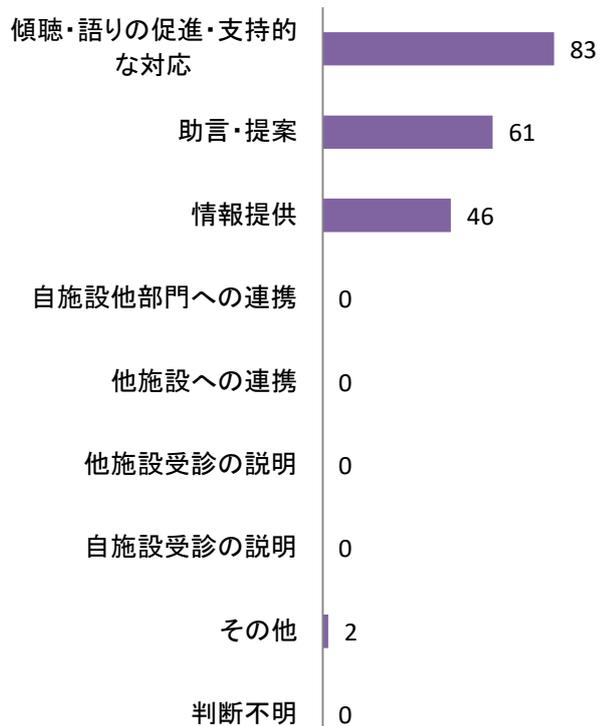
相談内容 (最も比重の高いもの)



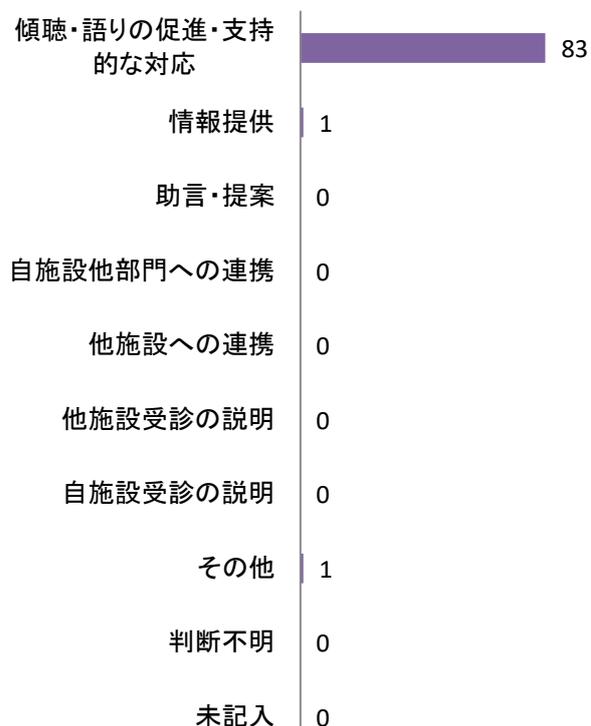
相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



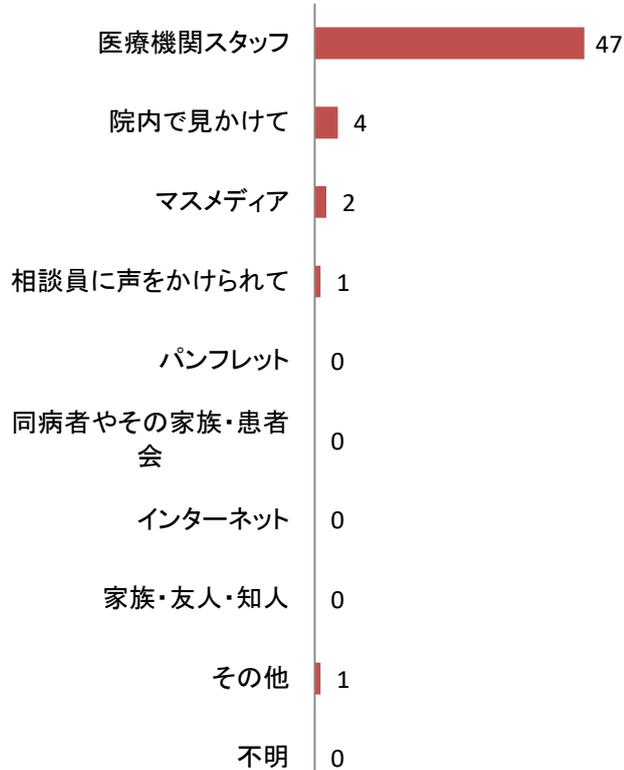
対応内容 (実施したもののすべて)



対応内容 (最も比重の高いもの)



認知経路



平成 30 年度

がんピアサポーター養成講座

開催報告

実施日：平成 31 年 2 月 2 日（土）～3 日（日）

- 【名称】 平成30年度 がんピアサポーター養成講座
- 【目的】 ①これから「ピアサポート」を始める方が、1対1での対応に関する基本的な事項を学ぶ
②受講生同士に仲間意識を持たせ、今後のセンター及び個々の活動が互いに連携できる環境をつくる
- 【概要】
1. 日時 平成31年2月2日（土） 9:45～16:30
3日（日） 9:30～16:30
 2. 場所 琉球大学医学部附属病院 大学院セミナー室
 3. 対象 下記①～④すべてに該当する方
①がん患者およびがん患者のご家族、ご遺族
②最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方
③全日程参加できる方
④受講後、治療や仕事や生活に支障がない範囲で当センターの登録がんピアサポーターとして活動できる方
 4. スタッフ 講師3名、アドバイザー1名
沖縄県地域統括相談支援センター
センター長、事務補佐員2名、相談員4名
 5. 主催 沖縄県地域統括相談支援センター（平成30年度 沖縄県委託事業）
 6. 共催 琉球大学医学部附属病院がんセンター
 7. 参加費 無料

※ 公益財団法人 日本対がん協会作成
「平成24年度 厚生労働省委託事業
がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業」
研修テキスト がんピアサポーター編
～これからピアサポートをはじめる人へ～ 使用

【プログラム別内容】

自己紹介

- ・アイスブレイキングとして行うことで、受講生が互いを知ることができる。

ピアサポートとは何か

- ・ピアサポートの定義、重要性、意義、活動内容や活動場所などを学ぶ。

ピアサポーターにとって大事なこと

- ・自分の意見を押し付けない、個人情報を守る、医療行為に踏み込まないなどのピアサポートを行うにあたって、最低限知っておいてほしいことや、必ず守ってほしいことを学ぶ。

自分の体験を語る

- ・ピアサポート時に自身のことを話す場合もあることから、自己の体験を語れるように整理する。
- ・他の受講生が語っている内容を聴くことで傾聴を学ぶ。

がんの基礎知識

- ・相談者の話を聴く際に知っておくと役に立つ医学的知識を学ぶ。
- ・がん診療の流れ、がんの基本的知識（検査法、治療法、治療後の留意点など）、がん治療（手術、放射線、薬物）、補完代替医療についてなど。

緩和医療について

- ・がんに伴って起きるさまざまなつらさを和らげるためのケアとして正しい知識を学ぶ。

精神腫瘍学について

- ・がん患者のこころの動きと対応の辞めどき、専門家への紹介の仕方などを学ぶ。

より良いコミュニケーションのために

- ・服装や言葉使いなど接遇の基本的なことから、話しやすい雰囲気作り、相談者の目線や表情、仕草から読み取れることや、「あいづち」と「繰り返し」の効果を学ぶ。

ロールプレイ

- ・2日間で学んだことを実習で試し、フィードバックにより良い面も悪い面も全員で情報共有することで個々の対応に活かす。

【プログラム】 1日目 (2/2)

開始	終了	時間	内 容	講 師
9:45	9:48	3分	開講のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
9:48	9:52	4分	オリエンテーション	
9:52	10:00	8分	受講生 自己紹介	
10:00	11:00	60分	講義 ・ピアサポートとは何か ・ピアサポーターにとって 大切なこと	NPO法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様
11:00	11:10	10分	休憩	
11:10	12:20	70分	講義 がんの基礎知識①	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
12:20	13:00	40分	お昼休憩	
13:00	14:00	60分	講義 緩和医療について	国立病院機構 沖縄病院 副院長 大湾勤子 先生
14:00	14:10	10分	休憩	
14:10	15:05	55分	ワークショップ 自分の体験を語る	講師 NPO法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様
15:05	15:15	10分	休憩	
15:15	16:10	55分	講義 精神腫瘍学	沖縄県立南部医療センター こども医療センター 精神科副部長 川田聡 先生
16:10	16:20	10分	アンケート記入	
16:20	16:30	10分	片付け	

2日目(2/3)

開始	終了	時間	内 容	講 師
9:30	9:32	2分	はじめのあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
9:32	9:35	3分	オリエンテーション	
9:35	10:45	70分	講義 がんの基礎知識②	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
10:55	11:05	10分	休憩	
10:50	11:40	50分	講義 より良いコミュニケーションのために	NPO法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様
11:40	13:00	80分	お昼休憩	
12:30	13:00	30分	ロールプレイ打ち合わせ	スタッフ全員
13:00	13:15	15分	ロールプレイの講義・実演	
13:15	14:15	60分	ロールプレイ①	講師 NPO法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様
14:15	14:25	10分	休憩	
14:25	15:15	50分	ロールプレイ②	ファシリテーター 沖縄県立中部病院がん相談支援センター 副看護師長 島袋幸代 様
15:15	16:10	55分	ワークショップ ロールプレイ①②の 振り返り	
16:10	16:20	10分	アンケート記入	
16:20	16:25	5分	修了書授与	
16:25	16:30	5分	閉講のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
16:30	16:32	2分	写真撮影	
16:32	16:50	18分	片付け	スタッフ全員

【参加者数】

受講者：4名

【振り返り】

- ・体調不良やお仕事の都合等が重なり、当初予定していた人数より4名と受講生が少なく残念であったが、逆に少ない人数だったからこそ1人1人に対して掘り下げて対応・指導することができ、また講師やアドバイザーの方々の配慮もあり終始和やかに進んだ。
- ・講義中はメモを取るだけでなく、質疑応答の時間も多く、熱心に聞き入っていた。
- ・ロールプレイでは4セッションの内1人2回ずつピアサポーター役をしてもらったが、1回目よりも2回目と態度や話し方、言葉の選び方など短時間での上達が見られ、また利用者、観察者役も通してそれぞれの立場や気持ちを理解していたようだった。
- ・ピアサポートの難しさはあるが、必要性を強く感じ、お手伝いしていきたいと話していただき良かった。
- ・フォローアップ研修会同様、千葉県より講師をお呼びしたが、その時の反省点も踏まえ、詳細部分について何度も事前に確認したことでスムーズに進行できた。
(本来なら前日打ち合わせだが、お仕事の都合上、前日夜間に沖縄入りしたため)

【反省点】

- ・前年度まで3日間開催していた内容を今年度より2日間に短縮したことで、テキストの修正、見直し等に時間がかかってしまい、ギリギリまで準備に手間取ってしまった。次年度開催時は計画、周知活動と余裕を持って行いたい。

【今後の課題】

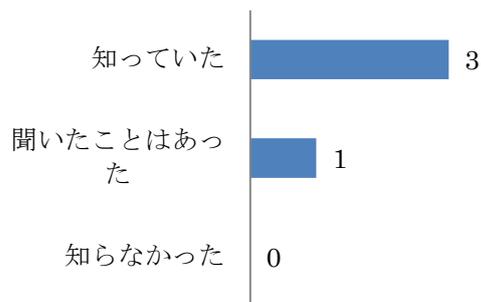
- ・フォローアップ研修会との兼ね合いもあるので、開催時期や場所を検討する。
- ・医療機関や患者会との連携だけでなく、主催する病院の協力を大前提として広げていく必要がある。

【アンケート集計結果】

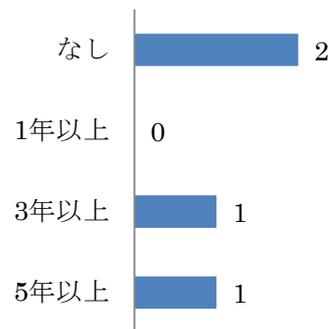
Q 1. 養成講座に参加したきっかけ

- ・知り合いの方が亡くなり、自分のお話したことがよかったのかと疑問に感じたことから受講してみようと思った。
- ・同じ病気の方と共有し、少しでも力になることができたらと思ったから。
- ・病院の待合室等で、以前の自分がそこにいたんだと思い出すことがあり、この体験を活かして、がん患者の心の力になりたい、何かお手伝いしたいと思ったから。
- ・社会貢献として、自分自身の人生勉強として。

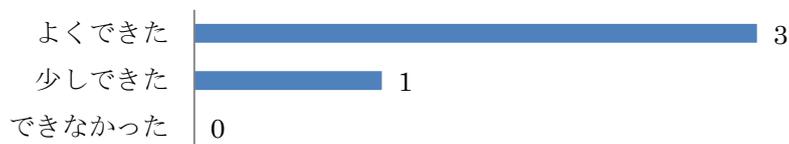
Q2. ピアサポート活動（またはピアサポーター）を知っていたか



Q3. ピアサポート歴

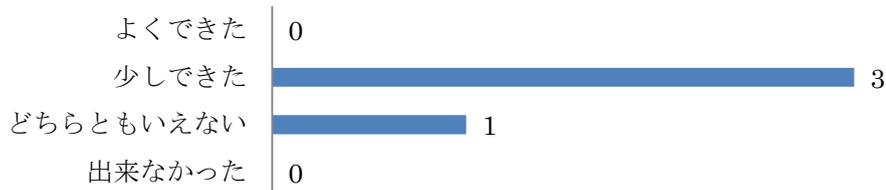


Q 4. 1日目の講義内容は理解できたか



- ・患者さんの心の変化、ストレスで受ける心の状態等、分かりやすく丁寧に講義してもらったことで理解できた。
- ・分からないことも質疑応答などで詳しく説明、教えてくれたので理解できた。
- ・話の内容もよく理解でき、時間もあっという間だった。

Q 5. 「自分の体験を語る」では、自分なりに語れたか



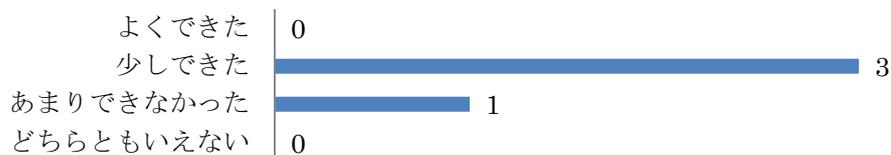
- ・時間の使い方が難しかった。
- ・話したいことを時間内にまとめることが十分ではなかった。
- ・自分の体験したこと、話したいことをちゃんと伝えられたか不安。

Q 6. 2日目の講義内容は理解できたか



- ・具体的な例などがあって、とても分かりやすかった。
- ・相手の気持ちを真っ直ぐに受け止め、言葉選びも大切だと思った。
- ・医師と患者とのコミュニケーションも大事だということを感じた。

Q 7. ロールプレイでは自分なりにできたか

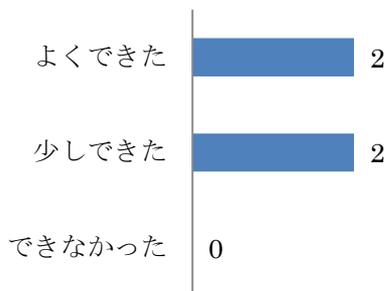


- ・言葉に詰まってしまい、うまく話ができなかった。
- ・考えながら相手に合わせてゆっくり話したりと難しかった。
- ・自分が知っていることをつい説明しそうになった。
- ・傾聴すること、間を置くことが少しできた。

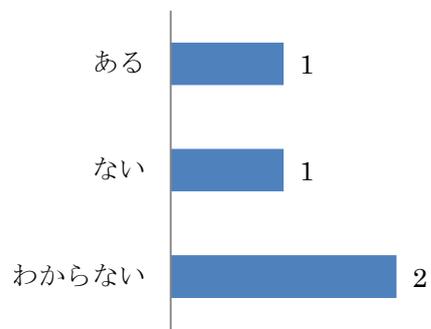
Q 8. ロールプレイを通しての感想

- ・思っていたよりも難しかったが、自分でも分からなかったことに気づくこともあり、とても勉強になった。
- ・相手に合わせる話し方、間の置き方が大切だと感じた。
- ・相手の気持ちを考え、言葉にして伝えることは難しいと改めて思った。
- ・言葉選び、また対応としての線引きが難しかった。
- ・ただ相談を受けるだけでなく、知識、経験が必要だと感じた。

Q 9. ピアサポート活動について理解できたか



Q10. ピアサポーターとして活動する上で不安は



Q11. ピアサポーターとして活動する上で、どのようなフォロー体制があるといいか

- ・対応に戸惑ったとき、すぐにフォローしてもらえるよう、1人ではなくやっぱり2~3人でのピアサポートが望ましい。
- ・病院や地域との連携があると心強いと思う。
- ・半年に1度など、定期的な勉強会、懇親会があればいい。

Q12. ご意見・ご感想

- ・ピアサポーターのあるべき姿、心構え、知識を楽しく学べ本当によかった。
- ・細部まで指導、対応してもらい、とてもよかった。
- ・受講したことでピア（仲間）ができたので嬉しかった。
- ・まだ分からないこともあるので、もっと勉強し経験を積んでいきたい。
- ・大げさかもしれないが、人生観が変わるぐらいの2日間だった。

【当日の様子】



▲講義「ピアサポートとは何か、ピアサポーターにとって大切なこと」



▲講義「がんの基礎知識①②」



▲講義「緩和医療について」



▲講義「精神腫瘍学」



▲ワークショップ「自分の体験を語る」



▲講義「より良いコミュニケーションのために」



▲ロールプレイ



▲養成講座終了後の集合写真

【案内チラシ】

平成30年度
がんピアサポーター
養成講座

「ピア」とは「仲間」という意味です。
「ピアサポート」は、がんという病気を体験した人やその家族が仲間（ピア）として「体験を共有し、ともに考える」ことで、がん患者やその家族を支援することです。
「ピアサポーター」は、ピアサポートを行う人のことをいいます。

日時	平成31年2月2日(土) 9:30~18:00 2月3日(日) 9:30~17:00 全2日間
会場	琉球大学医学部附属病院 大学院セミナー室
受講条件 *すべてに 該当する方	① がん患者およびがん患者のご家族またはご遺族の方 ② 最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方 ③ 全日程(2日間)参加できる方 ④ 受講後、治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターの登録がんピアサポーター(ボランティア)として活動できる方
定員	10名 *定員になり次第締め切りとさせていただきます。
受講料	無料
申込方法	申込用紙にご記入のうえ、お電話、FAX、電子メール、郵送または 直接 当センターまでお持ちください。
申込締切	平成31年1月18日(金) 必着

主催 沖縄県地域統括相談支援センター(平成30年度沖縄県委託事業)
*研修内容については裏面をご覧ください ⇨⇨

▲チラシ表面

平成30年度
がんピアサポーター
養成講座 受講生募集!



	時間	内容
1日目 2月2日(土)	9:00~受付 9:30~18:00 (途中休憩あり)	講義 ・ピアサポートとは何か? ・がんの基礎知識 ・緩和医療について ・精神看護学 アイスブレイキング ワークショップ ・自分の体験を語る
2日目 2月3日(日)	9:00~受付 9:30~17:00 (途中休憩あり)	講義 ・がん情報について ・知っておくと良い情報 ・より良いコミュニケーションのために ロールプレイ ・講義、実演 ・振り返り

*受講参加者には、当センターより後日参加決定通知書を送付いたします。
*全日程を受講した際、修了証をお渡しいたしますが、賞状として認定されるものではありません。
*講座終了後、治療や仕事、生活に支障がない範囲で、当センターの登録がんピアサポーターとして活動に参加していただきます。



【お問い合わせ】
沖縄県地域統括相談支援センター
(がんピアサポート相談室)
〒903-0215
西原町字上原207番地 3階
T E L 098-942-3407
F A X 098-942-3408
メールアドレス
info@gansoudan-okinawa.jp

▲チラシ裏面

がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 1

【目的】

沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣して活動の場の創出を図る。

【概要】

1. 名称 那覇がん患者ゆんたく会 がんピアサロン
2. 日時 平成30年5月16日(水) 14:00~15:30
3. 場所 那覇市北保健センター
4. 派遣者 ピアサポーター1名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名
6. 内容 「自分でできるリンパドレナージ」、交流サロン
7. 主催 那覇市立病院がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13:30	13:50	20分	事前打ち合わせ (自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ)
13:50	14:00	10分	那覇市立病院スタッフとの打ち合わせ
14:00	15:30	90分	「自分でできるリンパドレナージ」
15:30	15:40	10分	終了 (参加者へチラシ配布、声かけ等)
15:40	15:50	10分	振り返り

【当日の様子】

先方の都合により6月に予定されていた「自分でできるリンパドレナージ」というテーマを急遽前倒して行われ、ミニ講演会というスタイルでのゆんたく会となった。皆さんがリンパ節郭清の手術を経験した訳ではなさそうだったが、熱心に聞き入り、後半は質問が多く飛び交い有意義な時間となった。ただ、演者と参加者のやり取りに留まり、ピアサポートをする時間は設けてもらえず終了し、ピアサポーターの出番がなく残念だった。主催者側にピアサポーターを派遣することの意味が伝わっていなかったように感じた。

参加者 22名



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 2

【概要】

1. 名称 那覇がん患者ゆんたく会 がんピアサロン
2. 日時 平成30年6月27日(水) 14:00~15:30
3. 場所 那覇市北保健センター
4. 派遣者 ピアサポーター2名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名、事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 那覇市立病院がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13:30	13:50	20分	事前打ち合わせ (自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ)
13:50	14:00	10分	那覇市立病院スタッフとの打ち合わせ
14:00	15:30	90分	サロン開始 サロンの説明、自己紹介
15:30	15:40	10分	サロン終了 (参加者へチラシ配布、声かけ等)
15:40	15:50	10分	振り返り

【当日の様子】

参加者の中に元外科医の方がいらして、その方を中心に終始和やかに会が進んだ。昔と今のがんの在り方について、食事や睡眠について等が大半を占め、皆さんお話を聞き入っていた。また、沖縄産業保健総合支援センター、ハローワークからも職員が来ており、「ながらウォーカー」についてお話があった。楽しくお喋りできた感じで笑顔で帰られたが、その中で、ピアサポートする時間というよりも、サポーターの存在を知ってもらう良い機会となった。

参加者7名。



【自己チェックシート集計結果】

医学的な判断やアドバイス

していない	2
どちらともいえない	0
した	0

主治医と患者・家族との関係を妨げるような発言

していない	2
どちらともいえない	0
した	0

個人的な経験、好み、信条、意見等の押し付け

していない	2
どちらともいえない	0
した	0

個人情報をご不適切に扱ったり、不用意に聞いた

していない	2
どちらともいえない	0
した	0

がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 3

【概要】

1. 名称 那覇がん患者ゆんたく会 がんピアサロン
2. 日時 平成30年7月18日(水) 14:00~15:30
3. 場所 那覇市北保健センター
4. 派遣者 ピアサポーター/ヨガ療法士1名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 ヨガ体験
7. 主催 那覇市立病院がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13:30	13:50	20分	事前打ち合わせ、準備
13:50	14:00	10分	那覇市立病院スタッフとの打ち合わせ
14:00	15:10	70分	ヨガ体験開始
15:10	15:30	20分	ゆんたく会 (ヨガに関するお話や質問)
15:30	15:40	10分	サロン終了 (参加者へチラシ配布、声かけ等)
15:40	15:50	10分	振り返り

【当日の様子】

まず各々の体調や状態を事前に確認してから始めた。ひとつひとつの動きをゆっくり、各々ができるやり方（イスに座ったまま、床に座っても正座や体育座りなどさまざま）で、呼吸法を中心に進めた。息を吸うことはできるが、吐くことができない人が増えている。一番の原因はストレスだと説明すると、意識しながら皆さんしていた。最後は電気を消し瞑想。その後のゆんたく会では、ヨガに関する質疑応答。いろいろな種類があるので、無理をせず自分に合ったことをすればいいと話し、終了。こんな時間があっても良い、リラックスできた、続けたいと言ってくれた。体験としては好印象。次は音楽があってもいいかと思う。

参加者 9 名。



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 4

【概要】

1. 名称 那覇がん患者ゆんたく会 がんピアサロン
2. 日時 平成30年8月15日(水) 14:00~15:30
3. 場所 那覇市北保健センター
4. 派遣者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 「高額療養費制度」、交流サロン
7. 主催 那覇市立病院がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13:45	14:00	15分	那覇市立病院スタッフとの打ち合わせ
14:00	14:45	45分	「高額療養費制度」
14:45	15:30	45分	ゆんたく会
15:30	15:40	10分	サロン終了 (参加者へチラシ配布、声かけ等)
15:40	15:50	10分	振り返り

【当日の様子】

急遽、テーマが変更になったことと、悪天候のため参加者は少なかった。医療SWの方がスライドを使って丁寧に教えてくれ、皆熱心に聞き入っていた。スライド説明が終わると、ご自身の経験を踏まえた質問が飛び交い、関心度の高さを感じた。北部から参加した方を中心に高齢者医療や介護、また、地域によって行政や医療の関わり方、対応の違いがあるなど「へき地医療」についても話し合われた。もしがんと告げられたとき、本島や本土の病院を退院しお住まいの地域に帰られたときなど、ピアサポートの必要性がうかがえた。

参加者 5名。



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 5

【概要】

1. 名称 那覇がん患者ゆんたく会 がんピアサロン
2. 日時 平成30年10月17日(水) 14:00~15:00
3. 場所 那覇市北保健センター
4. 派遣者 ピアサポーター1名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員2名、事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 那覇市立病院がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13:45	14:00	15分	那覇市立病院スタッフとの打ち合わせ
14:00	15:00	60分	サロン開始 サロンの説明、自己紹介
15:00	15:05	5分	サロン終了 (参加者へチラシ配布、声かけ等)
15:05	15:15	10分	振り返り

【当日の様子】

悪天候のため今回の参加者も少なかったが、逆に現在の治療や悩みだけでなく、普段は聞きにくい医療費も含めお金についても掘り下げて話しあうことができた。ハローワーク職員の方もいらしていたので、年金だけでは生活が苦しく、病気を抱えながらも仕事をしなければいけない実情の方もいれば、自分を必要とされたい、何かの役に立ちたいと、お金とは別に病気になっても仕事を求める理由の一つだとお話にみな頷いていた。他にも琉大「ゆんたく会」の様子やアピアランスケアのお話もあり、1時間ではあったが充実した内容だった。

参加者2名。



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 6

【概要】

1. 名称 那覇がん患者ゆんたく会 がんピアサロン
2. 日時 平成31年2月20日(水) 14:00~15:30
3. 場所 那覇市北保健センター
4. 派遣者 ピアサポーター3名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名、事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 那覇市立病院がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13:30	13:50	20分	事前打ち合わせ (自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ)
13:50	14:00	10分	那覇市立病院スタッフとの打ち合わせ
14:00	15:30	90分	サロン開始 サロンの説明、自己紹介
15:30	15:45	15分	サロン終了 振り返り

【当日の様子】

沖縄の年中行事と重なったため参加者は少なかったが、元外科医の方がいらっしやったので「がん」について感じたこと思うことを、医師の立場として質疑応答を交えながらお話していただいた。一人一人のお話もしつくりと聴くことができ、あっという間に時間が過ぎた。終了後、次年度事業について那覇市立病院職員と確認、詳細日程についてはこれからだが県立中部病院と交互にピアサポーターを派遣すること、毎月第三水曜日に開催しているが、お天気だけでなく今回のように行事等と重なると参加者が少ないことが考えられるので、その調整も必要だということになった。

また今月2日～3日開催した「がんピアサポーター養成講座」修了生の方が参加してくれたので、事前打ち合わせ、振り返りに時間をかけた。「初めてで緊張したが、これからも日程が合えば参加したい」とお話してくれたので、自分の体調や日程も考えながらゆっくり長く携わってくれるよう声掛けし終了した。

参加者3名。



【自己チェックシート集計結果】

医学的な判断やアドバイス

していない	2
どちらともいえない	0
した	0

主治医と患者・家族との関係を妨げるような発言

していない	2
どちらともいえない	0
した	0

個人的な経験、好み、信条、意見等の押し付け

していない	2
どちらともいえない	0
した	0

個人情報をご不適切に扱ったり、不用意に聞いた

していない	2
どちらともいえない	0
した	0